

令和4年度 第一回山形県地域職業能力開発促進協議会 議事概要

- 1 と き 令和4年10月31日(月) 10:00~12:00
- 2 ところ 山形労働局大会議室
- 3 出席者 17名(欠席2名、代理出席2名) ※参加者名簿参照
- 4 会長選出 会長の選任については、事務局から提案した國方山形大学名誉教授に選任された。
- 5 議 題 (詳細は資料参照。以下同じ。)

(1) 山形県地域職業能力開発促進協議会の設置要綱(案)について

山形県地域職業能力開発促進協議会の設置について事務局より要綱(案)を提案。採決の結果、要綱(案)のとおり可決され協議会の発足が承認された

(2) 最近の雇用情勢及び地域の訓練ニーズについて

山形労働局及び職業紹介事業実施機関から状況を説明。

(3) 令和3年度・令和4年度ハロートレーニング(離職者向け)について

令和3年度実績及び令和4年度9月末までの実績について説明。

山形労働局、山形県及び独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構山形支部よりそれぞれ説明。

(4) 職業訓練効果の把握・検証について

山形労働局よりワーキンググループの設置及び今後の活動内容について提案。

(5) キャリアコンサルティングの機会の確保について

山形労働局よりハローワークでの実例について報告。

(6) その他

労働局より人材開発助成金支援助成金、教育訓練給付金制度について説明。

6 意見交換(委員から出された意見と回答)

【Q1】

県の方からご説明頂いた資料3-3、【学卒者訓練】のところで、修了者が213人いて就職者が102人ということで、就職率100%とありますが、その差というのは修了したけども就職を希望しなかったということになると思うのですが、どういった方なのか教えてほしいです。

【A】

(1)の産業技術短期大学校で修了者が213人、就職希望者が102人の内訳ですが、1年生・2年生をすべて掲載しており、1年生は、1年課程を修了した方(進級者)ですが、修了者として掲載しております。2年生は学校そのものを修了した方で就職希望者、そして就職希望しない方として掲載しております。なお、産短大では2年課程で修了となります。山形県内には無いのですが、機構立で宮城県の栗原、栃木県の小山に応用課程という二か年間のつながる上位課程を持っている学校があります。そういった処に3~6名位入校も致します。就職を希望する者が100%就職して、もしくは入校等しているということ

す。1年次・2年次のうち、2年生修了で就職を希望する者はすべて就職しているという数字になります。

【Q2】

先ほどから各種研修の紹介を頂きまして、ありがとうございます。企業さんからよく話を伺いますと、特に建設業さんから、非常に人手不足だと聞きますし、せつかく企業内で教育して資格を取らせても、大企業などから引き抜かれたりすることがあるとのこと。さきほど説明があった研修や各コースの中でも建設分野につきましては、非常に就職率も高いということが理解できますし、また施工管理の分野の人材が非常に求められていると建設業さんから伺っております。そういったことから研修を受講されて修了して、いろいろな資格を目指すと思うのですが、最終的に資格を取得させる目的のコース設定もあるのでしょうか。また、どの程度の方が資格取得を実現されているかを教えてください。そして、就職時はいろいろな資格を持っていることが有利になることから、引き続き資格取得を奨励していただきますようお願いいたします。

【A】

今、ご質問ありました資格の関係ですが、ホリテクセンターでは建設業関係の訓練として、建築 CAD 施工科と福祉住環境サービス科の 2 科を設定しており、訓練を修了まで受講すれば取得できる資格もあります。例えば、建築 CAD 施工科の「足場の組立等の業務に係る特別教育」等です。他には、「建築 CAD 検定 2 級」があります。これについては訓練を受講すれば受験出来るだけの知識・技術は身につきますが、任意受験としております。

【意見1】

感想になりますが、労働者の立場として、WG の設置は最初からあったらいいなと思い、また、検証というものは必要だと思っていました。資料の求人と求職のマッチングを見ると、DX を進めなければならないとしても、実際そこまで DX が必要となっていない、今、国がリスキングに力を入れていこうとしているので、在職者の学び直しが行われる、それにより、引き抜きとかそういうものが進んでいく可能性もあるのかなと思いました。これにより、日本の社会で労働移動がどこまで進むのか、いずれ DX が進んでいけば社会で変革が起こってくると思います。本協議会において、さまざまな制度についてお聞きし、勉強になりました。ありがとうございました。

【意見2】

山形県の産業界が発達するには、やっぱり人材の高度化がより重要なことなので、この協議会が重要な役割を果たすと思います。

(まとめ)

上記のとおり各委員からご意見をいただき、地域の実情に必要な職業訓練の実施については、

県の産業界の発達に向けたより高度な職業訓練の実施、訓練ニーズの適格な把握、ワーキンググループでの検証を活かした訓練の改善などの対策を図ることが重要である。